

令和7年度 小平市立小平第二中学校 特別支援学級(G 組) 年間指導計画

教科名等		美術	担当教員	高橋順子
年間授業時数		70	曜日・時間	1. 2. 3 年生 木曜 3、4時間目
年間目標 テーマ等		・造形表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術文化と関わる素質・能力の育成を目指す。		
	単元(題材名)	指導数 (時間配当)	学習内容	教材・教具
1 学 期	・オリエンテーション 「マイフラワー」(絵画) ・三原色コロコロガーレ (紙工作・デザイン) ・陸体ポスター制作 (デザイン・共同制作) ・「切り絵から砂絵へ ～動物のいる風景～」 (紙工作・絵画) ・鑑賞(毎回)	1 1 4 8 12 計26	・右脳を耕す教科である。 - 花のイメージをふくらませ表現する。 ・紙工作と色彩の基礎を学習する。 (三原色、12色相環) ・主題を伝える表現を考え、協力して作り上げる。(レタリング、ペイント、はり絵) ・切り絵でカッターの直線⇒曲線⇒細部表現に習熟し、砂絵の台紙を切り抜き、色砂で動物や風景を表現する。 ・各題材の理解を深め、表現の多様性に気づく。	・風絵の具 ・カラー方眼紙 ・ポスターカラー ・模造紙 ・カッターナイフ ・色砂と専用台紙 ・友人の作品や名画、鑑賞教材
2 学 期	・「貝」(塑造) ・「水墨画」「墨彩画」(絵画) ・1年「アニマル組み木」(8) ・1年「アートな森の仲間たち」 (絵画)(8) ・1年色彩構成「四季」 (デザイン)(4) ・2年「なべしき」(木彫)(14) ・2・3年「和の文様」 (デザイン)(6) ・3年篆刻(彫刻)(4) ・3年スクラッチ(絵画)(10) ・鑑賞(毎回)	2 8 学年 題材 20 計30	・塑造での表現を通し、立体感覚を養う。 ・水墨・墨彩画では「余白の美」を感じながら薄墨と風絵の具で表現する。 ・木工芸では、1年生は電動のこぎりなど道具・用具の扱い方、2年生は伝統の彫りの技術を習得しながら木の特性や良さを知り、工夫して表現する。 ・絵画とデザインでは、四季の色や文様を学習し、自分なりの表現を見つける。 (表を作成し、トーンを理解する。) ・彫刻では、3年生の卒業制作として篆刻を彫り、水墨・墨彩画に押印する。 ・各題材の理解を深め、表現の多様性に気づく。	・油粘土 ・墨 ・風絵の具 ・板材 ・電動のこぎり ・やすり ・アクリル絵の具 ・パステル ・彫刻刀 ・ポワーステイン ・みつろうワックス ・カラートーン表 ・カラートーン紙 ・ポスターカラー ・印刀 ・友人の作品や名画、鑑賞教材
3 学 期	・1・2年「アートな織り」(工芸) ・3年「石彫」(篆刻印持ち手) (彫刻) ・鑑賞(毎回)	14 14 計14	・木材でマイ簡易織り機を作り、縦糸をかけ、横糸に自由な素材を工夫して織る。 ・3年生は篆刻印の持ち手をデザインして彫る。 ・各題材の理解を深め、表現の多様性に気づく。	・のこぎり、釘 ・羊毛、ししゅう糸 ・ビーズ ・印刀、・やすり ・研磨剤 ・友人の作品や名画、鑑賞教材